

地上デジタルTVチューナー 取付説明書

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2007

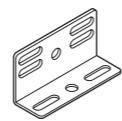
< KAMZF > < 07100000 > < CRA4079-A >

接続・取り付け部品を確認する

本体関係



本体 × 1



取付アングル × 2



B-CASカード × 1



座付きネジ (4×8 mm) × 4

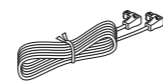


タッピングネジ (4×12 mm) × 4

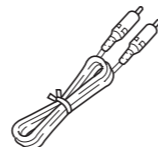
コード関係



電源コード × 1

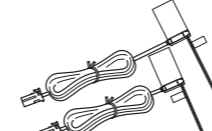


IP-BUSケーブル (3 m) × 1

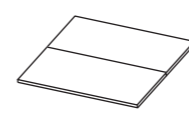


RCAビデオコード (黄) (3 m) × 1

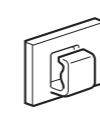
左右用アンテナ関係



右側用アンテナ
左側用アンテナ 各 1



固定用シート × 1
(2枚組)

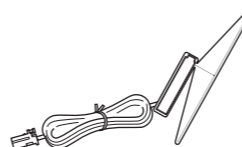


クランパー × 6

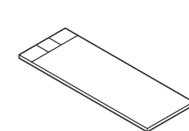


クリーナークロス × 1

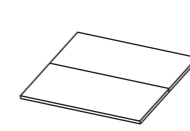
上部用アンテナ関係



上部用アンテナ × 2



グラウンドシート × 2



固定用シート × 1
(2枚組)



クランパー × 6

接続の前に知ってほしいこと

— 必ず車のバッテリーを外してから接続してください —

接続上のご注意

●黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

●必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障などの恐れがあります。

接続のポイント

ナビゲーション本体との接続について

●ナビゲーション本体との接続方法については、ナビゲーション本体に付属の取付説明書も併せてご覧ください。

IP-BUSケーブルの接続について

●IP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクタの接続部分が色分けされています。）違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

電源配線キットを別売しています

●システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

ノイズ防止のために

●ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体や、ハイダウェイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
- * ビーコン受信機およびそのアンテナコード

それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

コネクタの着脱のしかた

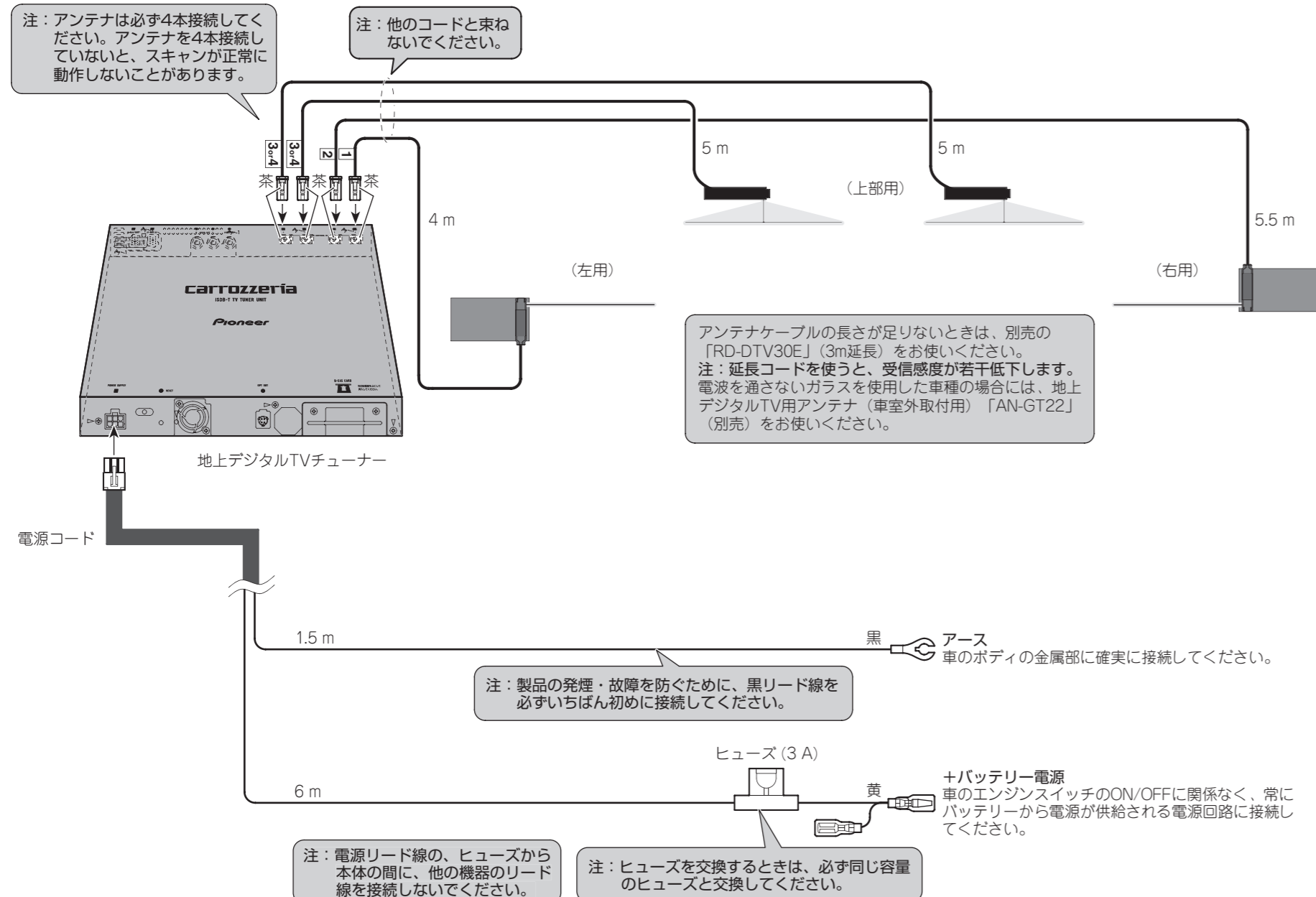
●コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

●コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



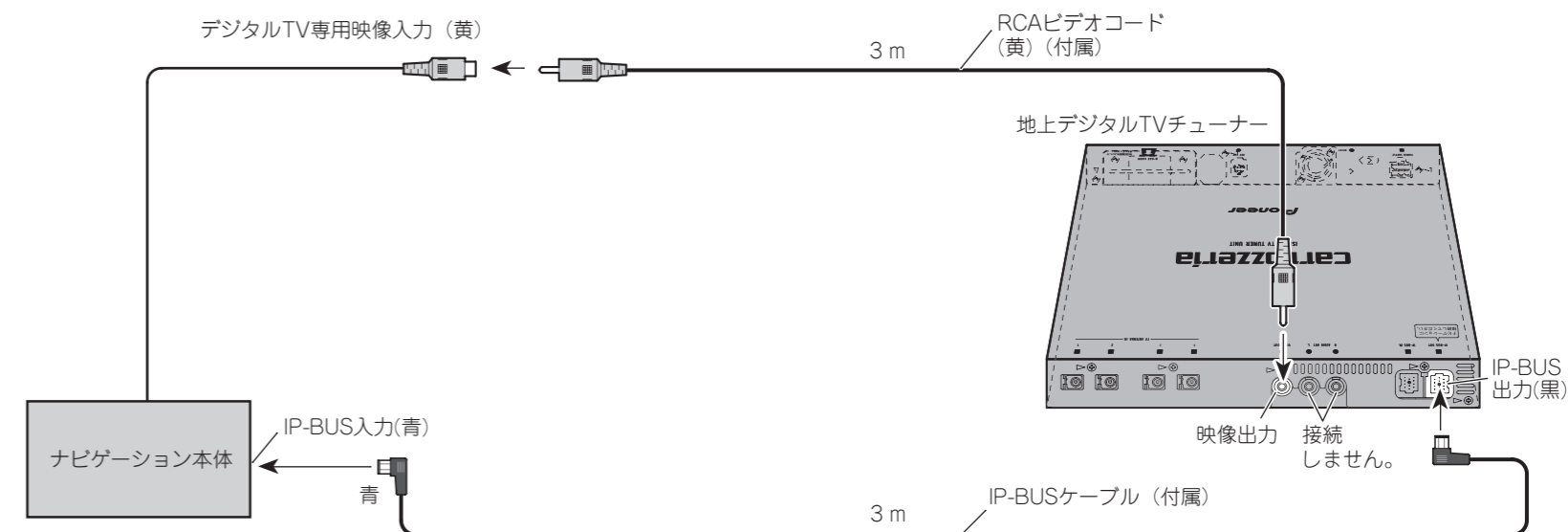
電源コード、フィルムアンテナの接続

— 必ず車のバッテリーを外してから接続してください —



システムの接続

— 必ず車のバッテリーを外してから接続してください —



メモ

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、地上デジタルTVチューナーとナビゲーション本体を直接接続してお楽しみください。

動作を確認する

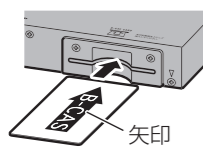
接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

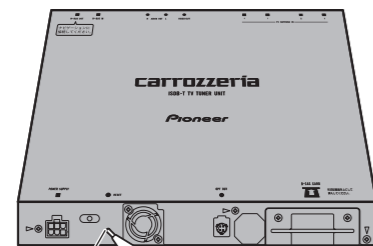
2 B-CASカードを挿入する



3 車のエンジンをかける



4 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



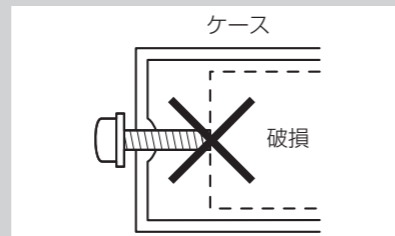
5 本機の動作を確認する

(☞ 取扱説明書)

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 必ず本機および、取り付けキットに付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。

* ダッシュボードやリアトレイの上のように直射日光の当たる場所。

* ヒーターの吹き出し口の近く。

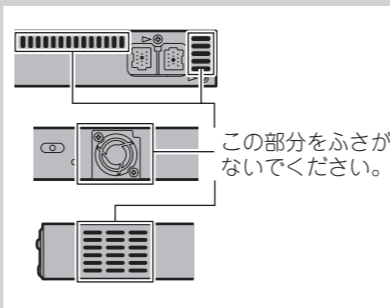
- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。

- フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないよう取り付けしてください。

- 平らな面に取り付けてください。平らな面以外に取り付けると、外れたり故障の原因となります。
- しっかりと固定できる場所を選んで取り付けしてください。スペアボードやハッチバックのリアトレイなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。

- 指定の取り付け方法以外で取り付けると性能を十分に発揮できません。また、故障の原因となることがあります。

- 放熱や給気を妨げないために、下図の部分をふさがないように配置してください。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。
- 本体を取り付ける前に、B-CASカードが抜き差しできることを確認してから取り付けてください。

ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体やハイダウェイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

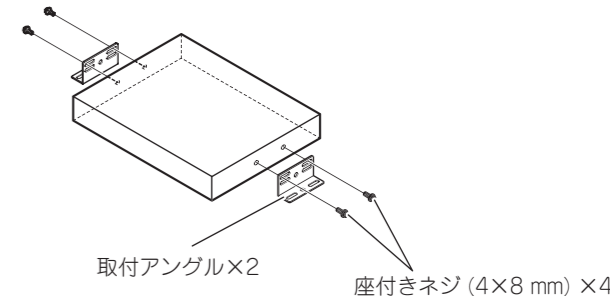
- * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
 - * ビーコン受信機およびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

本体を取り付ける

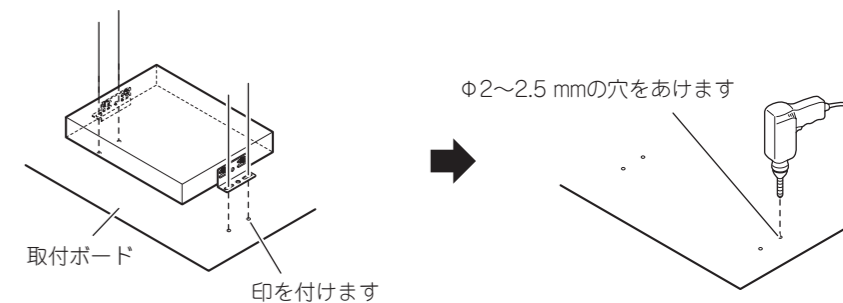
取付アングルを使用して取り付ける

1 取付アングルを本機に取り付ける

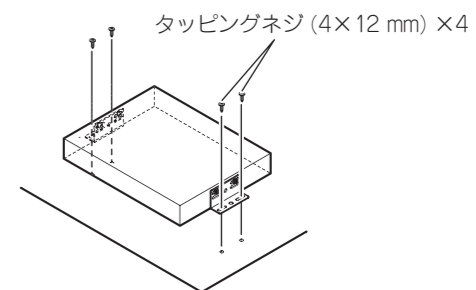
本機を車に取り付けるために、取付アングルを本機に取り付けます。



2 取り付ける位置を決め、穴を開ける



3 タッピングネジで、しっかり固定する



フィルムアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

- 保安基準^{*}に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
- ^{*}保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付の運輸省（現、国土交通省）令第95号をいいます。
- アンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外の場所には、貼り付けしないでください。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合は、受信感度が極端に低下します。
- 付属のフィルムアンテナでは十分な受信感度が得られない場合は、上部用アンテナを地上デジタルTV用アンテナ（車室外取付用）「AN-GT22」（別売）に変えて接続してください。
- フロントガラスに4枚貼るスペースが無い車には、取り付けることができません。
- 必ず車内の取り付け場所に、フィルムアンテナとアンテナケーブルを仮止めして、貼り付けられることを確認してください。
- フロントピラーにエアバッグを搭載している車両には、取り付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。

- フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。
- 作業場所は、風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときは、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにして貼り付け面を暖めておいてください。
- 他のアンテナ（ナビゲーションに付属のFM多重用アンテナなど）から指定の距離以上離して取り付けます。このため、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

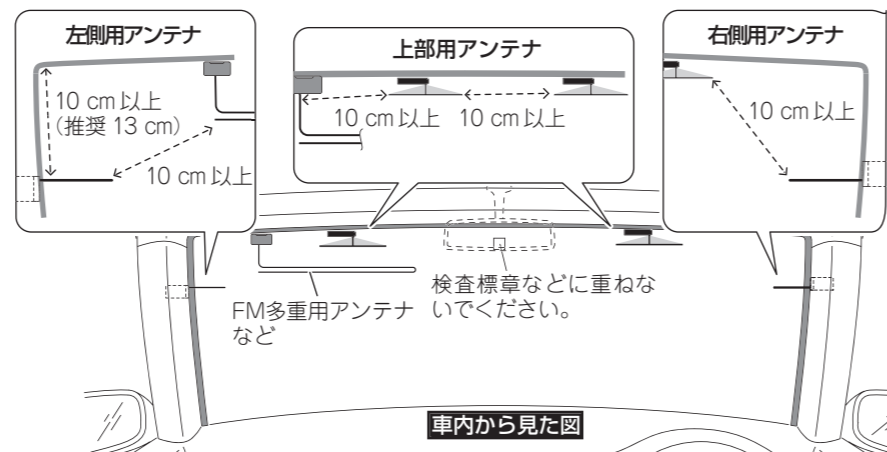
ナビゲーション本体に付属のVICS/FM多重用のフィルムアンテナなど、他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。

一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

貼り付け位置を決める

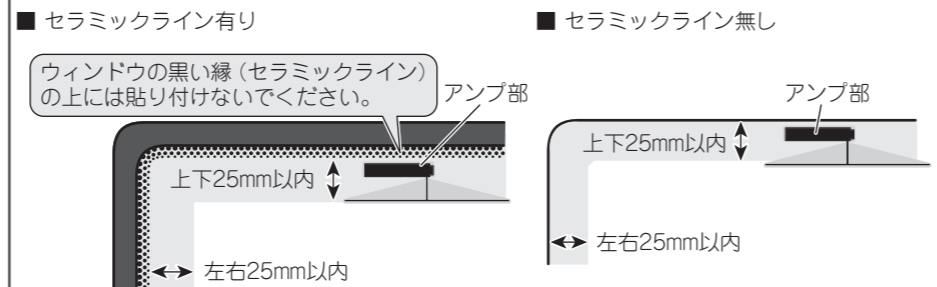
必ずお守りください

運転に安全な視界を確保し性能を十分に発揮させるために、必ず「アンブ部の貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。



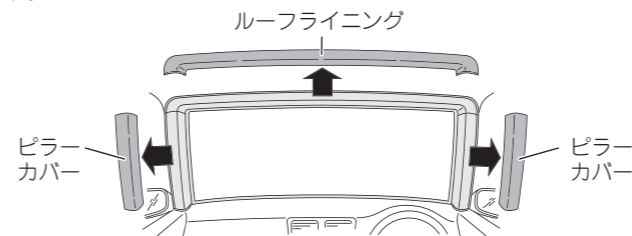
左側用 / 右側用アンテナ：フロントガラス上部のセラミック部分（黒い部分）の端より10cm以上離し（推奨は13cm）、かつ他のアンテナより10cm以上離す。
 上部用アンテナ：2つのアンテナの間隔を10cm以上離し、かつ他のアンテナより10cm以上離す。

アンブ部の貼付許容範囲



1 アンテナの取り付け位置を確認する

2 車内の内張り（ピラーカバー、ルーフライニング、バイザーなど）を取り外す

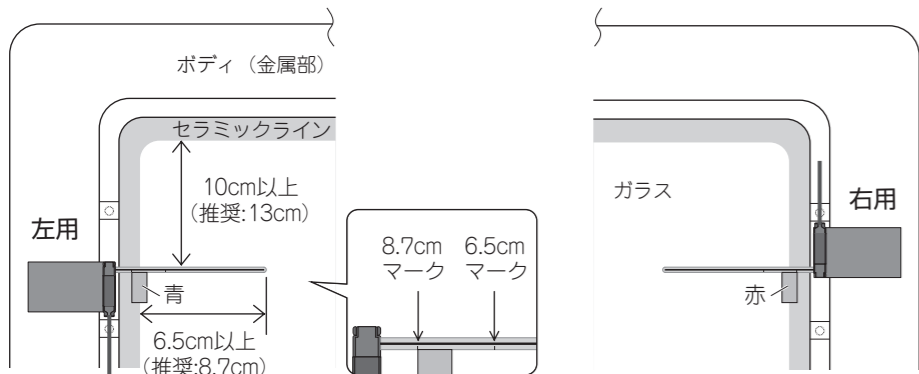


左右用フィルムアンテナの取り付け

フィルムアンテナを貼り付ける

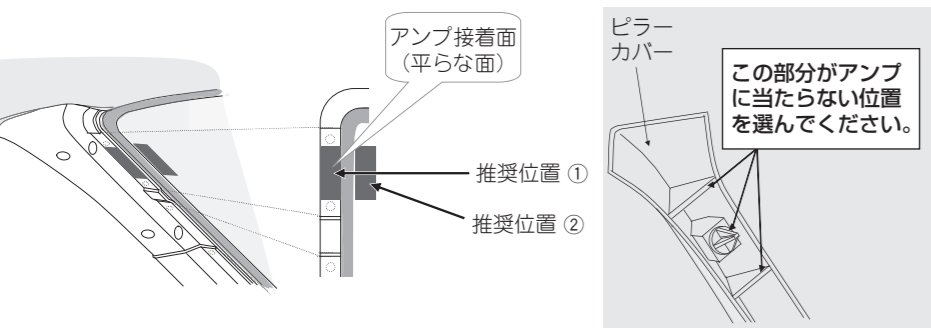
1 フィルムアンテナを貼り付ける位置を決める

- ・左右用フィルムアンテナは、左用（青のタブ付き）と右用（赤のタブ付き）があります。左右間違えないようにご注意ください。右用は配線が上方向に出るように取り付けます。
- ・エレメント部分には、6.5cmと8.7cmの部分にマークがついています。セラミックラインの端がこのマークの範囲に入るように取り付けます。



2 アンブ部を貼り付ける位置を決める

- ・アンブ部の貼り付け位置は、上記エレメントの位置が確保できる場所で、ピラー内の金属部のガラスに最も近い平面に貼り付けます。その際、アンブ部にピラーカバーの枠などが当たらない位置でかつアース部がボディの金属面に貼り付けられる場所を選んでください。



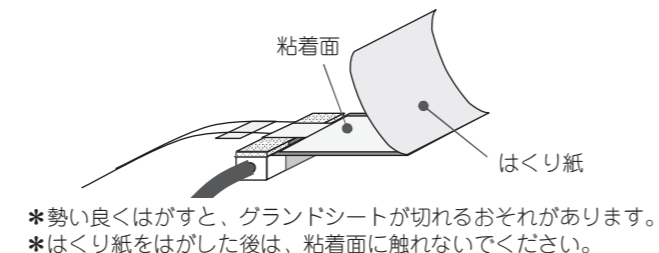
*実際にアンテナを当てて確認してください。

メモ

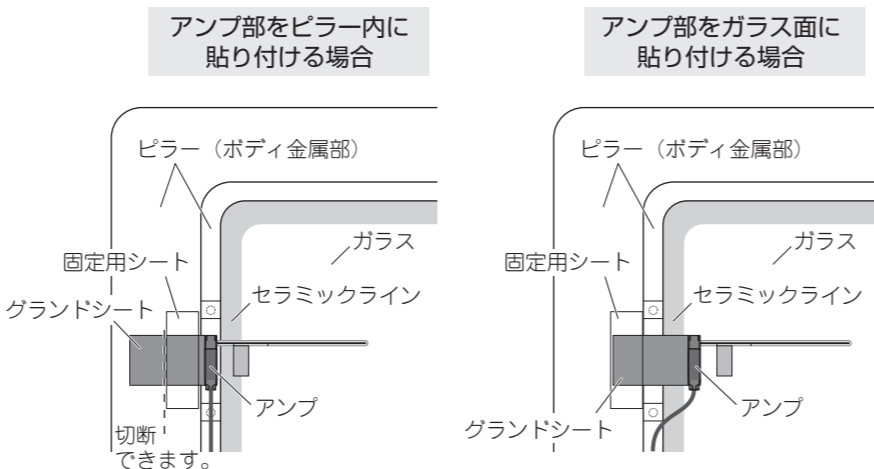
- アンブ部をピラー内に貼り付けることができない場合は、ガラス面に貼り付ける事ができます（推奨位置②）。その場合は、「アンブ部の取付許容範囲内」に取り付けてください。

3 貼り付ける面の汚れを付属のクリーナークロスできれいに拭き取る

4 アンブ部のはくり紙を剥がす



5 アンブ部をピラー内またはガラス面に貼り付け、固定用シートで固定します。



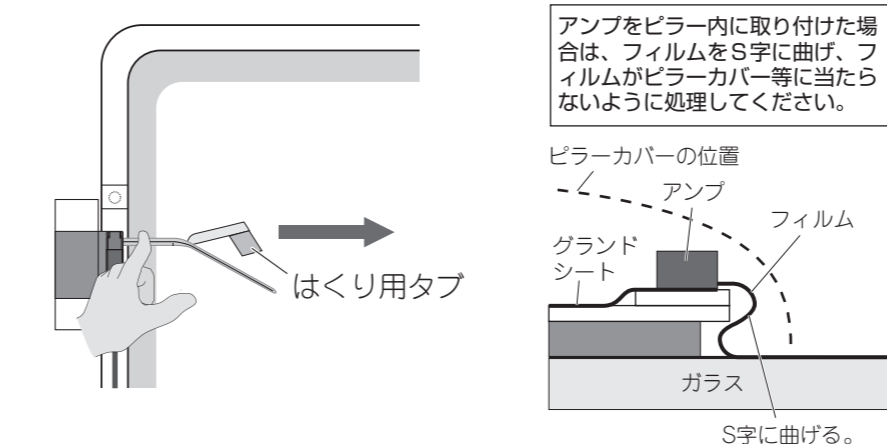
- *アンブ部は、セラミックライン上には貼り付けしないでください。十分な強度が得られない為、脱落するおそれがあります。
- *グラウンドシートが長い場合、切断できます。固定用シートの端に合わせて切断してください。
- *グラウンドシートは、車のボディの金属部に接触するように貼り付けてください。塗装をはがす必要はありません。

6 エレメントを貼り付ける部分の汚れを付属のクリーナークロスできれいに拭き取る

7 エレメントを貼り付ける部分に、中性洗剤を薄めた水を十分塗る

*アンブ部に水がかからないようにご注意ください。

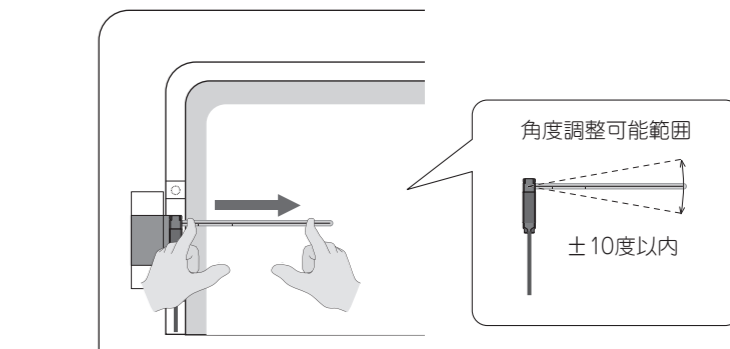
8 フィルムの元を押さえながら、はくり用タブを摘んで はくりシートをはがし、エレメントをフロントガラスに貼り付ける



- *勢い良くはがすと、エレメントが切れるおそれがあります。
- *貼り付け後は、フィルムの上からエレメントを強く押さえてガラス面に密着させてください。

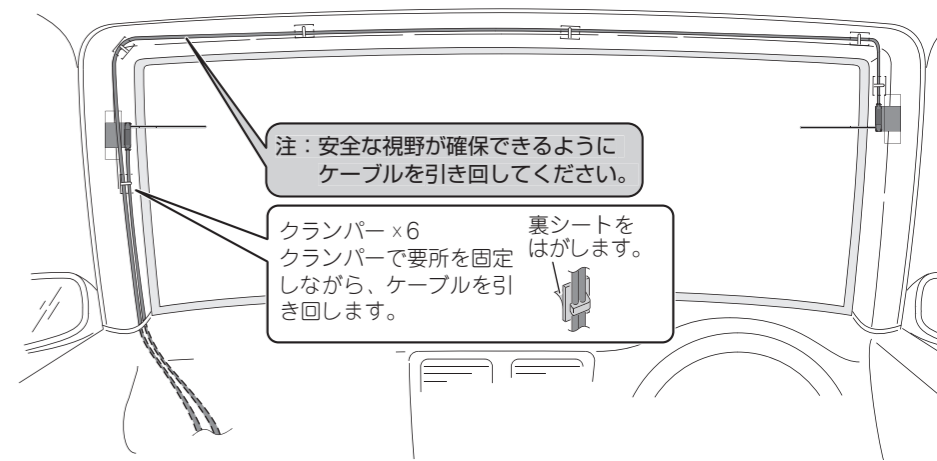
9 フィルムの元を押さえながらエレメントを水平に貼る

- *矢印の方向に軽くしごいて、余分な水分や気泡を取り除きます。
- *エレメントの角度は、上下10度以内に調整できます。
- *乾いた後は、角度の調整や貼りなおすことはできません。



10 右側も同様に取り付け

11 配線を引き回し、クランパーで固定する

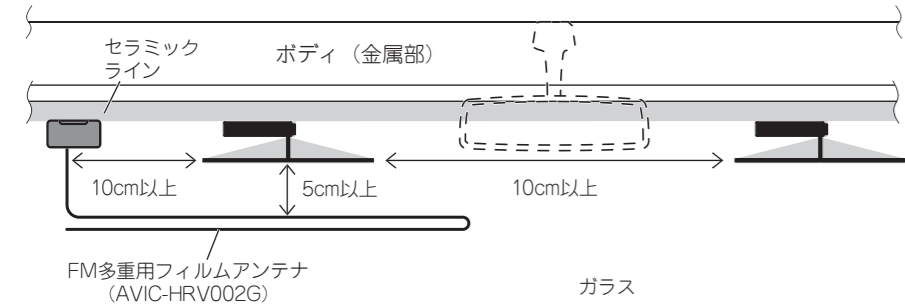


上部用フィルムアンテナの取り付け

フィルムアンテナを貼り付ける

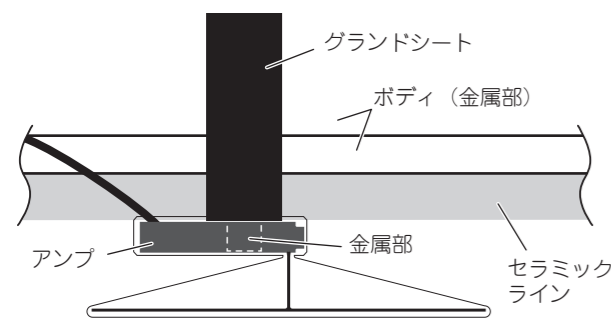
1 フィルムアンテナを貼り付ける位置を決める

・上部用フィルムアンテナは2本とも同じものです。指定以上の間隔を離して貼り付けてください。



2 グランドシートを貼り付ける位置を決める

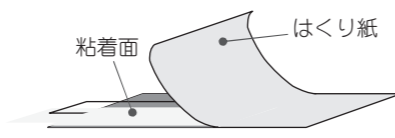
・グランドシートを貼り付ける位置でアンテナの貼り付け位置が決まります。貼り付ける前に位置を確認してください。



- *実際にアンテナを当てて確認してください。
- *内装物を取り付けたときに、アンテナやアンブの一部が当たらない位置を選んでください。
- *アンブ部は、セラミックライン上には貼り付けしないでください。セラミックライン上は、十分な強度が得られない為、脱落するおそれがあります。
- *グランドシートの金属部に触れないでください。

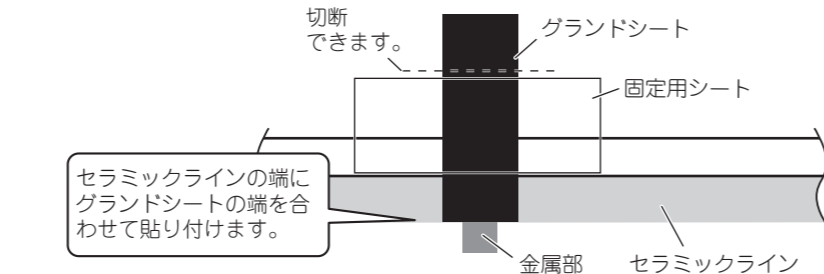
3 貼り付ける面の汚れを付属のクリーナークロスできれいに拭き取る

4 グランドシートのはくり紙を剥がす



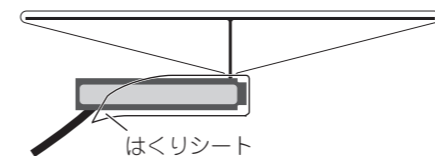
- *勢い良くはがすと、グランドシートが切れるおそれがあります。
- *はくり紙をはがした後は、粘着面に触れないでください。

5 グランドシートを貼り付け、固定用シートで固定する

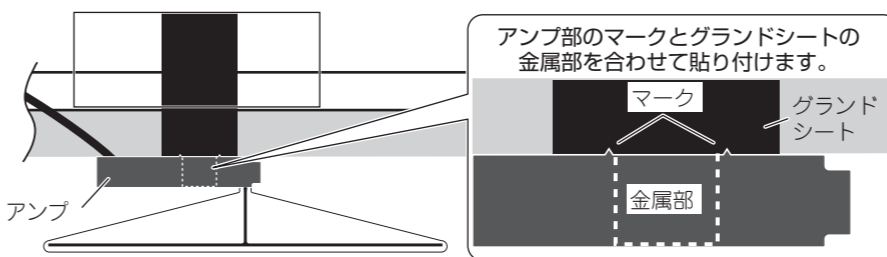


- *グランドシートは、車のボディの金属面に接触するように貼り付けてください。塗装をはがす必要はありません。
- *グランドシートが長い場合、切断できます。固定用シートの端に合わせて切断してください。
- *車種によっては、セラミックラインの端に合わせてアンテナの一部が内装と接触する場合があります。その場合は接触しない位置に貼り付けてください。
- *グランドシートの金属部には触れないでください。

6 アンブ部のはくりシートをはがす



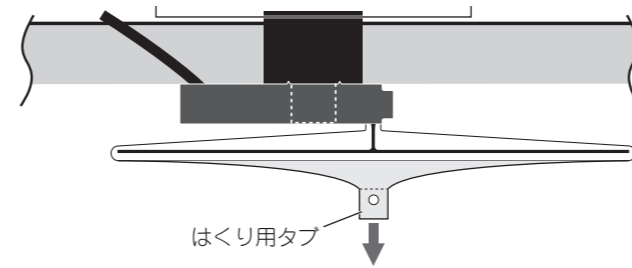
7 アンブ部を貼り付ける



8 エレメントを貼り付ける部分に、中性洗剤を薄めた水を十分塗る

*アンブ部に水がかからないようにご注意ください。

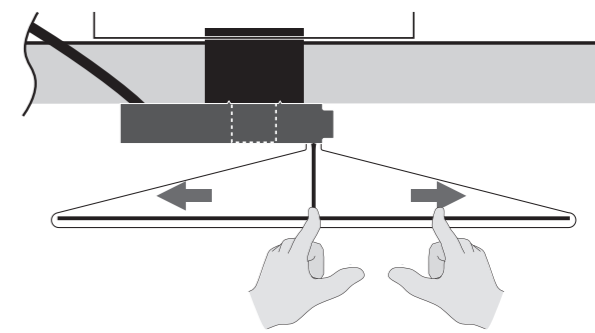
9 裏側のはくり用タブを摘んで はくりシートをはがし、エレメントをフロントガラスに貼り付ける



*勢い良くはがすと、エレメントが切れるおそれがあります。

10 フィルムの中心を押さえながらエレメントを水平に貼る

- *矢印の方向に軽くしごいて、余分な水分や気泡を取り除きます。
- *乾いた後は、角度の調整や貼りなおすことはできません。



11 もう片方も同様にに取り付ける

12 配線を引き回し、クランパーで固定する

